



日本共産党  
の議席は

# 町民の願いを町政に 届け、実現する力です

## 不公正な同和事業の廃止を実現

同和利権の横行など乱脈・不公正な同和行政。国は2002年に同和事業を終結しましたが、上里町は続けてきました。日本共産党の、くつざわ議員は「町も同和事業の終結を」と繰り返し要求。2011年12月議会で「私も（同和事業の終結を）決断したい」と町長がついに答弁し、終結することになりました。

## 中学卒業まで医療費の無料化を実現

子ども医療費無料化制度は子育て支援の柱。日本共産党はくりかえし年齢拡大を求め、ゼロ歳児から就学前まで、小学校入学前までと前進し、さらに中学卒業までの無料化を要望し、2010年7月から中学卒業までの無料化が実現しました。

## 小中学校—今年の夏はエアコンが使用

日本共産党の、くつざわ議員は、「夏は30度以下で25～28度が望ましい」との国の学校環境衛生基準も示し、エアコンの設置を求めてきました。町は「学校耐震化が最優先」とふみきれないでいましたが、2013年3月議会で小中学校へのエアコン設置が予算化され、今年の夏から使用できるようになります。

## 住宅リフォーム助成を延長し拡充

住宅リフォーム助成は2012年度に終了する予定でした。日本共産党の、くつざわ議員は制度の継続と耐震診断、耐震補給も助成対象にするよう要望。町は、制度の継続とともに「耐震診断、耐震改修に対する新たな補助を平成25年度（2013年度）から検討する」と約束し、実現しました。

## 「介護保険の水準維持を」の意見書採択

国の施策に対し意見書を提出することは地方議会の大切な仕事です。町議会では日本共産党の、くつざわ議員が提案者となり賛同議員をつのり提案した国への意見書が数多く採択されています。主なものを紹介します。

「国の責任で介護サービスの水準維持の予算措置を」  
「東日本大震災の被災者支援と復旧の迅速な対応を」  
「原発の縮小・廃止を含むエネルギー政策の見直しを」  
「衆議院比例定数削減に反対し民意が反映できる選挙制度に」  
「3種ワクチンの助成継続と早期に国の制度確立を求める」など

## こういう町政と町議会では困ります 町民のくらしが大変な時に・・・

- 2010年度に水道料金を15%値上げ（保守、公明が賛成）
  - 2012年度に介護保険料を30%値上げ（保守、公明が賛成）
  - 2013年度に国保税を総額3200万円増税（保守が賛成）
  - ◆ 2015年度には介護保険料の値上げが予定されています
- 日本共産党は増税・負担増には反対してきました

町民1人当たりの所得はこの10年間に29万円も減っています。その時に、増税と負担増でさらに町民を苦しめる政治でいいのでしょうか。その一方で町の貯金（財政調整基金）は4年間で2倍に。町政と町議会のあり方が問われています。

「町政のチエツク機能が果たすためにも、  
共産党の議員は町議会に必要だよ」  
保守系議員から寄せられた言葉です

